



踏み込み消毒を実施しましょう。

畜産の環境には、いろいろな病原菌やウィルスが存在しています。自分のところだけは大丈夫だろうと消毒をおろそかにしていませんか？

細菌、ウィルス及び寄生虫は、長靴等に付着して畜舎内に侵入し、悪影響を及ぼします。この侵入経路を絶つことが「消毒」の役割です。まずは、踏み込み消毒槽の設置に取り組みましょう。

踏み込み消毒方法

畜舎に入るときの基本は、畜舎に病原菌、ウィルス、寄生虫を入れないために、専用の作業着・長靴を用意しておき、その都度着替えてもらうことです。さらに、畜舎入口には「踏み込み消毒槽」を設置しましょう。

- ①汚れた長靴。
- ②洗い水槽で、長靴についている糞や泥を、ブラシなどを使って洗い落とす。
- ③次に踏み込み消毒槽で、長靴を消毒する。
- ④きれいな長靴(この長靴は、8年目です。いつも洗えばきれいでも長持ち。)



①消毒前



②洗い水槽



③踏み込み消毒槽



④消毒後

③の消毒槽の中に有機物(糞尿など)が入ると、殺菌力がおちます。消毒液が汚れたら、すぐに取り替えましょう。

使用する消毒薬の注意事項、希釈倍率を守って使いましょう。

裏面もご覧ください→

主な踏み込み消毒用の消毒薬

消毒薬の種類	製品名例	ウイルス	細菌	寄生虫 (コクシジウム)	希釈倍率	その他
逆性石けん液	クリアキル	○	○	×	500~2000	水で薄めると 透明
	アストップ	○	○	×	500~2000	
	パコマ	○	○	×	500~2000	
両性石けん液	パステル	○	○	×	140~700	
オルソ剤	タハザール	○	○	○	30~100	水で薄めると 白く濁る
	トライキル	○	○	○	100~200	

- 効果のある消毒薬
× 効果のない消毒薬